

久高だより



HP 第1号
編集・発行
広報委員会



ごあいさつ

PTA会長 高山和貴

コロナ禍で活動に制限のある中、広報誌の紙面の見直しなども含めて試験的にネット配信に挑戦するという事で挨拶文の寄稿依頼をいただきました。

さて、うちの息子はあつという間に三年生で、進路を決める重要な時期に入りました。一年次は部活の応援や学校の様々な行事に参加し、保護者としても楽しく過ごせました。二年生、三年生になればもっと子供たちの活躍を目にすることができると楽しみにしていたのですが叶いませんでした。

一年生、二年生の保護者の皆様においては、入学当初からあらゆる行事に制限がかかり学校の様子に触れることもできず残念な気持ちを持たれているのではないかと思います。

久南定期戦

昨年、今年と2年連続で中止となった久南定期戦：その歴史は古く、第一回の開催は一九四九年、なんと今から七十二年前になります。

一九四七年「終戦で目的を失った学生たちの精神面の教育のために」と、戦前から行われていた久商、南筑、明善の交流戦を再開、それから二年後に久南定期戦となり、現在に至るそうです。

久商野球部（一九〇〇年創部）部員は格別の思いを抱き、年に一度の伝統の一戦に臨み、全校一丸となって応援する、それは素晴らしい時間です。また二〇〇四年からエールの交換が行われるようになりました。



タイムリーに子供たちの様子を保護者の皆さんに届けられるように、広報誌のネット配信するという取り組みがぜひ成功し発展することを願います。

話は変わりますが、この寄稿依頼を受けてから九州北部は豪雨に見舞われてしまいました。福岡県内でも久留米市は甚大な被害となっており、久留米商業PTAの中にも被災された方がいらっしゃるのではないかと思います。心よりお見舞い申し上げます。

私事ですが、数年前より縁あって災害ボランティア活動にかかわらせていただいています。一緒に活動している仲間の中のスローガンがありますのでご紹介させていただきます。

「できることを、できる人が、できるだけ」

できることがないからやらなくても良いということではなく、小さなことでもやれることがあれば積極的にという意味です。これはボランティアにかかわらず、PTA活動にも当てはまることかと思えます。コロナの猛威も収まる気配がなく、非常事態宣言も発令されてしまいました。

子供たちのより良い学校生活のために、どんなことでもご意見やご協力よろしくお願いします。



戦後誰もが自分のことで精一杯だった中でも、先人たちは子ども達を思う気持ちを見失わず、今に続く久南定期戦を遺してくれました。

今コロナ禍で迷走する我々は、そのたくましさを見習って、苦境の中でも周りを思いやり、前向きに生きて行きたいものです。

今年にはコロナ感染予防対策に沿った応援練習をして、楽しみに当日を待っていた矢先の、緊急事態宣言発令。

来年こそ必ず再開して現一年生、二年生に、この感動を共有してもらえるように、コロナの終息を願っています。



進路指導部より

進路実現に向けて1・2年生時には次のような心がけが大切です

「成功」の反対は「失敗」ではなく、「何もしないこと」、「挑戦しないこと」

- ① 1年生で学ぶ商業科目が3年間の基礎です。苦手とならないよう復習や練習の繰り返しで基礎固めを。受験する検定試験は全て合格する気持ちで。
- ② 検定取得に関しては、2年生の末までに、実用英語技能検定試験準2級以上、全商協会各種検定1級、ITパスポート等の取得を目指しましょう。英語検定2級や日商簿記2級、ITパスポート以上の情報系の検定は、国公立大学や難関私立大学の出願基準にもなっています。
- ③ 予習・復習、課題や小テストへの取り組みはしっかりと。読解力は全科目の基礎と心得て読書量を増やしましょう。
- ④ 部活動や学校行事を始め、体験・経験を通して自分を向上させることに取り組みましょう。
- ⑤ 社会で通用するマナーを身に付けよう。「久商STYLE TEN」はその入口。
- ⑥ 新聞を読もう、ニュースを見よう。情報や時事問題について自分の意見を持ち、発信する力が求められている。

全てにおいて、目標を立て、計画的かつ確実に取り組み、改善を重ね、目標達成に近づいていきましょう。



進路Q&A

Q 総合型選抜と学校推薦型選抜の違いとは？

A 学校推薦型選抜は原則として高校の学校長の推薦を必要としますが、総合型選抜は出願条件を満たしていれば、出願できます。

総合型選抜は9月以降にエントリーがスタート。それに対し、学校推薦型選抜の出願は11月以降です。学校推薦型選抜は主に評定平均や検定取得実績、部活動実績等の高校生活での実績に重きを置かれ、指定校推薦も含まれます。総合型選抜では、高校生活での実績に加えて、体験授業やグループディスカッションなど学校独自の選抜方法があります。

Q 3年生での急な進路変更のタイムリミットは？

A 3年生の7月末に実施される三者面談がタイムリミットです。しかし、3年生での急な変更は、受験対策の遅れや選択肢がかなり制限されることを考えると、大きなリスクを伴うと言えます。進路決定の流れとしては、1年生で「就職・進学・公務員のどの分野に進むか」、また「将来就きたい職業」や「学びたい学問」を決定します。2年生では、「県内か県外か」、「大学か短大か」、「具体的に目指す学校はどこか」など、将来の目標を実現するため具体的にどんな場所で、どんなふうに住みたいか（働きたいか）を決定します。合格のために必要な検定取得も2年生までに計画的に行いたいものです。そして、3年生は、2年生までに決定した進路目標の実現のため、合格を目指して学科試験や小論文・面接対策に取り組んでいきます。例年、80%程度の生徒は3年生の2学期までに進路が決定しますので、1・2年生までに進路希望を確定しておくことをお勧めします。